

2020年5月8日

教区の皆様

福岡教区本部事務局
主管 青木 悟

アベイヤ司教の着座式日程について

＋主の平和

緊急事態宣言の延長がされ、公開ミサの中止が続きます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍によって苦しみ、不安の中で過ごされている方々のため、また様々な場においてキリストに倣い職務を果たされている方々のためにお祈りしています。

さて、4月14日に福岡教区の司教として任命されたヨゼフ・アベイヤ司教は、4月27日に無事に福岡に到着され、福岡での生活をスタートされました。そして、本日5月8日、教区顧問会にてアベイヤ司教の着座式の日程と詳細について決定されましたので、お知らせ致します。また、着座式に関して、アベイヤ司教と杉原寛信神父(使徒座管理者)の連名によるメッセージが発表されましたので、あわせてお送りいたします。

記

ヨゼフ アベイヤ司教 福岡司教着座式（非公開）

日時:2020年5月17日(日)14時～

場所:カトリック大名町教会

※着座式にあわせ、教区民は心をあわせてお祈りください。祈りの方法については添付資料を参照ください。

※教区民の代表による限られた人数によって行われ、着座式は非公開となります。代表者以外は会場に入ることができません。ご了承ください。また、非公開の意図をご理解いただき、会場近くに参集されるようなこともご遠慮ください。

※着座式の模様は録画され、後日、教区ホームページ/YouTubeにて公開されます。詳細は追ってご案内いたします。

以上

2020年5月8日

福岡教区の兄弟姉妹の皆さん

+ 主の平和

新緑の季節を迎えました。私たちは5月を迎えて、聖母の月を祝っているところです。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大が止まらない中で、公開ミサが中止され、様々な教会活動が停止を余儀なくされています。感染症により亡くなられた方々の永遠の安息を祈るとともに、不安のうちに毎日を過ごしている人々のために祈ります。

さて、今回、このような未曾有の事態のなかで非公開という形で行うことになった「着座式」について皆さんとその意味と意義について分かち合いたいと思います。

1. カトリック教会では、司教は教皇によって任命されます。教皇は、その国の司教団や新しい司教が派遣されるはずの教区の意見を求めた上で、自由に司教を任命します(教会法第 377 条)。それは、イエスに選ばれて派遣された使徒たちのように、司教も派遣された者であることを表すとともに全教会とのつながりを示しています。
2. 新しく任命された司教は、派遣された教区の共同体に迎えられます。これが「着座式」の意味です。「全教区民の家」とも言うべきカテドラルに迎えられて新しい司教は、共同体が囲む主の食卓の牧者の席に案内されます。教皇が発表された任命書が朗読され、全教会との一致が確認されます。
3. 新しい司教と共に、主の食卓を囲んで感謝の祭儀が行われます。そして、皆が、それぞれ与えられている召し出しと賜物を再認識して、福音を証しし伝えるために派遣されます。
4. アベイヤ司教の福岡教区の司教としての着座式は、5月17日にカテドラル大名町教会で行われることが決定されました。本来ならば、教区の司祭、修道者、信徒が共に集って、新しい司教を迎え、共に歩む決意を表明するはずですが、しかし、ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染が続いている中で、厳しい制限が求められています。緊急事態宣言が延長されたところですが、また、さらに延長される可能性も十分にあります。これを念頭に置き、着座式をいつまでも延ばすことは好ましくないと判断されました。教会法では、着座式は司教の任命が発表された日から2ヶ月の間に行わねばならないと定められています(教会法第 382 条2項)。
5. このような状況から、教区顧問会にて今回の着座式について以下のように決定しました。
 - イ) 着座式は5月17日(日曜日)午後2時からカテドラルで行います
 - ロ) 参加者は教区民を現す代表者で、密集を避けるために限られた人数とします。
 - ✓ 教区顧問会のメンバー

- ✓ 福岡カトリック神学校と福岡コレジオの院長
- ✓ 修道者代表
- ✓ 信徒代表
- ✓ 外国から来られている信徒代表

- ハ) この方々は教区共同体を代表して新司教を迎えます。他の教区民におかれまして、その日、この代表者と心を合わせて、自分の家で祈りを捧げてくださいるようお願いいたします。祈り方の参考として添付資料を参照ください。
- ニ) 着座式には、長崎教会管区の責任者である長崎教区の高見三明大司教様が参加されることになっています。これによって、教会の一致がよりはっきりと明らかになります。
- ホ) 着座式は録画され、後日、福岡教区のホームページに掲載されます。

やむを得ずこのような形で着座式を行わなければならなくなりました。皆様のご理解をいただきたいと思ひます。尚、新型コロナウイルス感染拡大が収まりましたら、日本のすべての司教様方をお招きして、教区全体で感謝ミサを行いたいと考えています。いつになるか、今のところはっきり申すことはできませんが、できるだけ早く行うことができるよう希望しております。

皆さんの上に神様の豊かな祝福を祈ります。

ヨゼフ アベイヤ司教
使徒座管理者 杉原寛信

ヨゼフ アベイヤ司教の着座式に際して共に祈る

2020年5月17日(日)、午後2時から

※この日時が難しい場合は、着座式に近い時に着座式の意向に心を合わせて祈りの時間をもつ。

1. 導入

イエスの現存と共同体のつながりを感じながら、しばらく沈黙のときを持ちます。

沈黙の中で感謝と回心の祈りを捧げましょう。

—福岡教区のこれまでの歩み、そしてこれからの歩みに感謝をささげましょう。

—共同体としての歩みの中で、神にゆるしを願いたいことを祈りましょう。

2. 初めの祈り

天の父よ、

今日は、わたしたちの教区にとって大事な日です。

新しい司教が派遣され、今日、福岡教区にお迎えします。

今、世界が体験している新型コロナウイルス感染症の

難しい状況の中で、わたしたちは共に集うことができません。

わたしたちを代表して、何人かの兄弟姉妹は新しい司教を迎えています。

カテドラルに集まっているこの兄弟姉妹と心を合わせて祈ります。

天の父よ、

ヨゼフ アベイヤ司教を祝福してください。

わたしたちが、これからもお互いに支え合いながら歩み、

福音を証する共同体に成長することができるように、

わたしたちに知恵と力をお与えください。

主イエス・キリストによって。アーメン。

3. 福音の朗読：ヨハネによる福音書 21章 15～17節

着座式のミサで読まれる福音の箇所です。

司教は、キリストとしっかりと結ばれて、共同体に奉仕する者です。

「食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、『ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか』と言われた。ペトロが、『はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがお存じです』と言うと、イエスは『わたしの小羊を飼いなさい』と言われた。二度目にイエスは言われた。『ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。』ペトロが、『はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがお存じです』と言うと、イエスは『わたしの羊の世

話をしなさい』と言われた。三度目にイエスは言われた。『ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。』ペトロは、イエスが三度目、『わたしを愛しているか』と言われたので、悲しくなった。そして言った。『主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。』イエスは言われた。『わたしの羊を飼いなさい。』

4. 最後の祈り

わたしたち福岡教区の皆が、ともに歩みながら、イエスが教会に与えられた使命を果たしていく決意を新たにして祈ります。

- ✓ 主の祈り
- ✓ アヴェ マリア
- ✓ 栄唱

5. 新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り

いつくしみ深い神よ、
新型コロナウイルスの感染拡大によって、
今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。

病に苦しむ人に必要な医療が施され、
感染の終息に向けて取り組むすべての人、
医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。

亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、
尽きることのない安らぎに満たされますように。
不安と混乱に直面しているすべての人に、
支援の手が差し伸べられますように。

希望の源である神よ、わたしたちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、
世界のすべての人と助け合って、
この危機を乗り越えることができるようお導きください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

希望と慰めのよりどころである聖マリア、
苦難のうちにあるわたしたちのためにお祈りください。
